

1. オンライン受講の準備と参加

★開催当日

(5)研修開催日になりましたら、以下のようにご参加ください。
開催当日 15 分前より入室できます。以下 URL をクリックして参加してください。
または、Zoom クライアントを起動させ、参加からミーティング ID とパスコードを入力して参加してください。
※参加名は漢字姓名(かな)を入力して参加してください「例: 研修太郎(けんしゅうたろう)」。
<https://i-learning.zoom.us/j/12345678901?pwd=Tr1X6cdf129LAF1aR6RZYHb13vHnv3.1>
ミーティング ID:123 4567 8901 パスコード:102030

①オンライン受講のご案内

※開始時はマイク・ビデオ設定は「OFF」のままご参加ください。
※研修コースの内容により、ビデオを「ON」でご参加いただく場合や「参加名変更」をお願いする場合があります。
研修開始後に講師からご案内させていただきます。
※共通画面に参加名およびビデオが表示されることをご承知おきください。
※参加後の Zoom 操作方法はこちらを参照してください。
<https://www.i-learning.jp/download/class/onlineclassguide.pdf>

②

③

④

ミーティングに参加

ミーティング ID またはパーソナルリンク名
123 4567 8901

研修太郎(けんしゅうたろう)

☒ 将来のミーティングのためにこの名前を記憶する

☐ オーディオに接続

☐ マイビデオをオンにする

ミーティングパスコードを入力

「参加」をクリックすると自動的に参加します

ミーティングに参加する キャンセル

名前を変更する

以下に新しい名前を入力してください:

研修 太郎(けんしゅうたろう)

☒ 将来のミーティングのためにこの名前を記憶する

変更 キャンセル

- ① オンライン受講のご案内に従い、事前に受講環境を確認します。
Zoomデスクトップクライアントをインストールしてテストします。
[ミーティング用Zoomクライアント\(ダウンロード\)](#)
[テストミーティングに参加するためには\(セルフテスト\)](#)

デスクトップクライアントが使えない場合、ウェブクライアントで参加できますが、機能に制限があります(Google Chrome推奨)。
[Zoomウェブクライアントのクイックスタートガイド](#)
[デスクトップクライアント、モバイルアプリ、ウェブクライアントの比較](#)
- ② 当日は、オンライン受講のご案内にあるURLから参加する場合、画面下部に並ぶ[参加者]から参加者パネルを開き、自分の[詳細]から[名前の変更]を選び、名前を漢字姓名とかな
- ③ (例: 研修太郎(けんしゅうたろう))に変更します。
ウェブクライアントの場合、名前は参加時に設定できます。
- ④ 上記と異なりデスクトップクライアントを起動させて参加する場合、Zoomクライアント起動画面で[ミーティングに参加]を選び、ミーティングID(例: 123-4567-8901)と名前に漢字姓名とかな(例: 研修太郎(けんしゅうたろう))を入力し、ミーティングパスコード(例: 102030)を入れて参加します。
- ⑤ 受講中にZoomを誤って終了または接続が切れたとき、端末がフリーズまたは再起動したときは接続し直します。

2. 画面構成と基本操作(デスクトップクライアント)

The screenshot shows the Zoom desktop client interface during a meeting. The top bar displays the meeting title 'Zoom ミーティング' and the current speaker 'Keisuke Kumon'. Below this, a participant list shows three participants: '54321-001 Yam...', '54321-002 Kim...', and '54321-003 Yam...'. The main content area displays a presentation slide titled 'IT利活用の最大化の極み=クラウド' (Maximizing IT Utilization = Cloud). The slide content includes a diagram showing the transition from 'レガシーシステム (オンプレミス)' (Legacy System (On-premise)) to 'クラウドネイティブ' (Cloud Native) through 'Lift IaaSへ' (Lift to IaaS) and 'RPA自動化へ' (RPA Automation). The diagram also mentions 'Cloud Native' and 'クラウドネイティブ' (Cloud Native). The bottom toolbar contains icons for 'ミュート解除' (Unmute), 'ビデオの開始' (Start Video), '参加者' (Participants), 'チャット' (Chat), '画面の共有' (Share Screen), 'レコーディング' (Recording), 'リアクション' (Reaction), and '退出' (Leave). Red boxes and numbers 1 through 9 highlight specific features: 1. Mute button, 2. Unmute button, 3. Start/Stop Video button, 4. Participants list, 5. Chat window, 6. Share Screen button, 7. Recording button, 8. Reaction button, 9. Leave button.

① ミーティング情報 … 開催情報の確認

② ミュート解除⇔ミュート … マイクのオン・オフ (自分が発言するとき以外はミュート)

③ ビデオの開始⇔ビデオの停止 … ウェブカメラのオン・オフ(同じ場所で大人数が開始するとその場所のネットワークが遅延することあり)

④ 参加者 … 参加者の表示

⑤ チャット … メッセージの送受信 (ウェブクライアントへはファイル送信不可)

⑥ 画面の共有 … 自分が発表するとき、画面、ホワイトボード、開いているウィンドウ等を共有 (講師指示に従い操作)

⑦ レコーディング … 参加者による録画開始・停止は通常不可

⑧ リアクション … アイコンを使った意思表示

⑨ 退出 … 自分が退出 (開催中は退出しても再参加可能)

全画面表示を終了した状態の説明です(右上[表示]から全画面表示の終了⇔全画面表示の開始)。
研修・セミナーによっては、特定機能が無効化またはデフォルト設定が違ふことがあります。

3. 画面構成と基本操作(ウェブクライアント)

The screenshot shows a Zoom meeting window with the following elements and callouts:

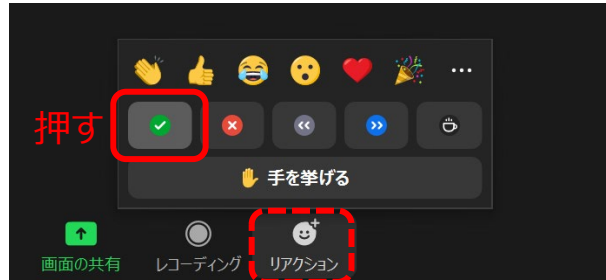
- Callout 1:** Points to the green status icon in the top left corner.
- Callout 2:** Points to the 'ミュート解除' (Unmute) button in the bottom toolbar.
- Callout 3:** Points to the 'ビデオを開始する' (Start Video) button in the bottom toolbar.
- Callout 4:** Points to the '参加者' (Participants) button in the bottom toolbar.
- Callout 5:** Points to the '画面を共有' (Share Screen) button in the bottom toolbar.
- Callout 6:** Points to the 'チャットします。' (Chat) button in the bottom toolbar.
- Callout 7:** Points to the 'Reactions' button in the bottom toolbar.
- Callout 8:** Points to the 'Settings' button in the bottom toolbar.
- Callout 9:** Points to the '更なる情報' (More Info) button in the bottom toolbar.
- Callout 10:** Points to the '退出' (Leave) button in the bottom toolbar.

The main content area displays a presentation slide titled 'IT利活用の最大化の極み=クラウド' (The Ultimate Maximization of IT Utilization = Cloud). The slide illustrates a transition from 'レガシーシステム (オンプレミス)' (Legacy System (On-premise)) to 'クラウドネイティブ' (Cloud Native) through 'Lift IaaS' and 'RPA 自動化' (Automation), leading to 'Cloud Native' and 'クラウドネイティブ' (Cloud Native). A large orange arrow points from the legacy system to the cloud native state, with a question mark '???' at its base.

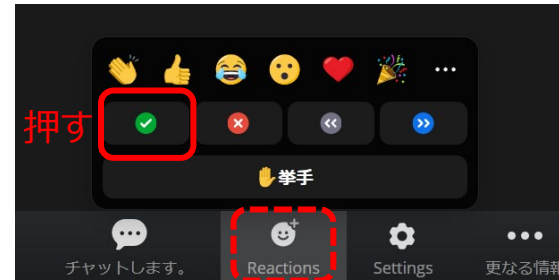
- ① **ミーティング情報** … 開催情報の確認
- ② **ミュート解除⇔ミュート** … マイクのオン・オフ (自分が発言するとき以外はミュート)
- ③ **ビデオを開始する⇔ビデオを停止する** … ウェブカメラのオン・オフ(同じ場所で大人数が開始するとその場所のネットワークが遅延することあり)
- ④ **参加者** … 参加者の表示
- ⑤ **画面を共有** … 自分が発表するとき、画面、ウィンドウ等を共有(講師指示に従い操作、ホワイトボードは共有開始できず参照のみ)
- ⑥ **チャットします。** … メッセージの送受信 (ファイル送受信不可)
- ⑦ **Reactions** … アイコンを使った意思表示
- ⑧ **Settings** … スキントーンと背景の設定
- ⑨ **更なる情報** … ビデオ受信のオン・オフ
- ⑩ **退出** … 自分が退出 (開催中は退出しても再参加可能)

全画面表示を終了した状態の説明です(右上[表示]から全画面表示の終了⇔全画面表示)。
研修・セミナーによっては、特定機能が無効化またはデフォルト設定が違ふことがあります。

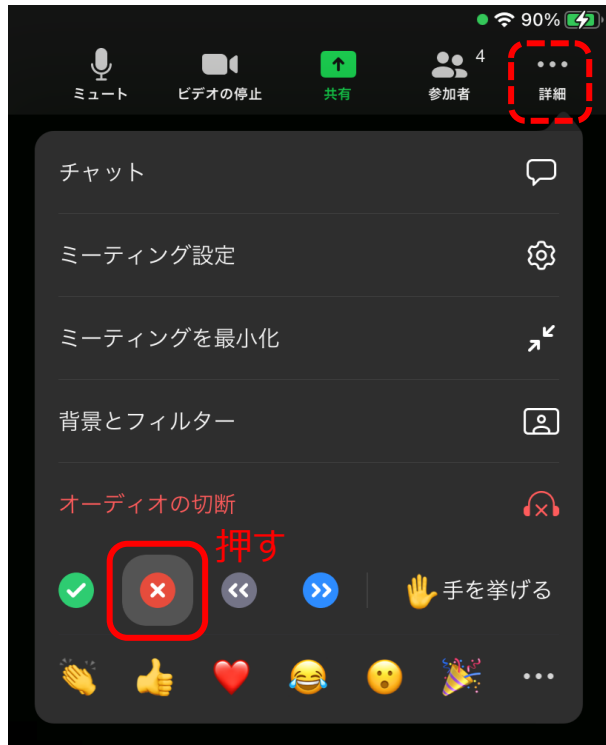
4. リアクションを使った意思表示



①デスクトップクライアント



②ウェブクライアント



③モバイルアプリ

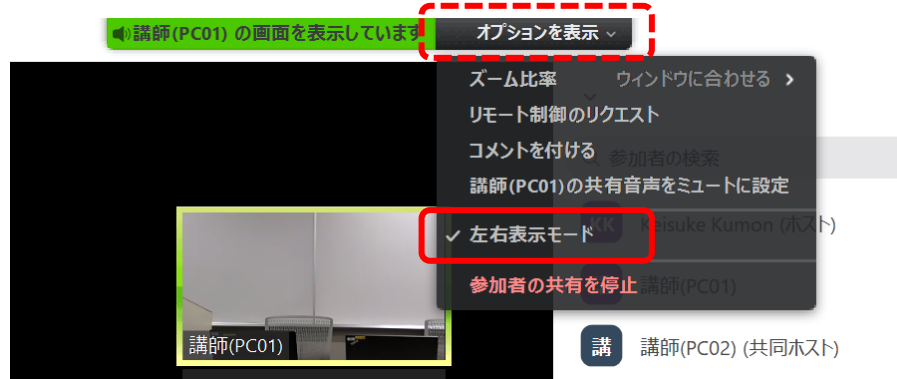


アイコンが押されると参加者
パネルに表示されます！

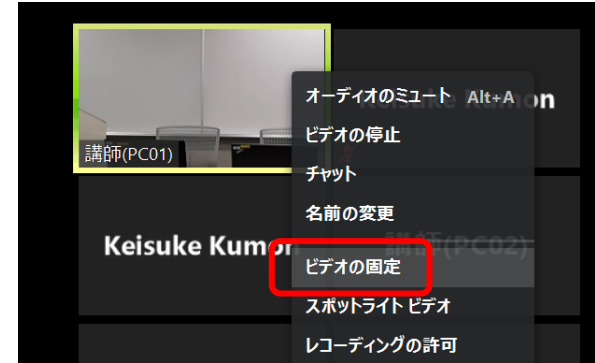
- ① デスクトップクライアント … Windows、macOS
- ② ウェブクライアント … ウェブブラウザ
- ③ モバイルアプリ … iPadOS、iOS、Android

①	②	③	説明	互換性
			手を挙げる	あり
			はい	
			いいえ	
			もっと遅く	
			もっと速く	
			拍手	
			賛成	
			ヨロコビ	
			開いた口	
			ハート	
			ジャジャーン	
			絵文字	
			外出中です	なし

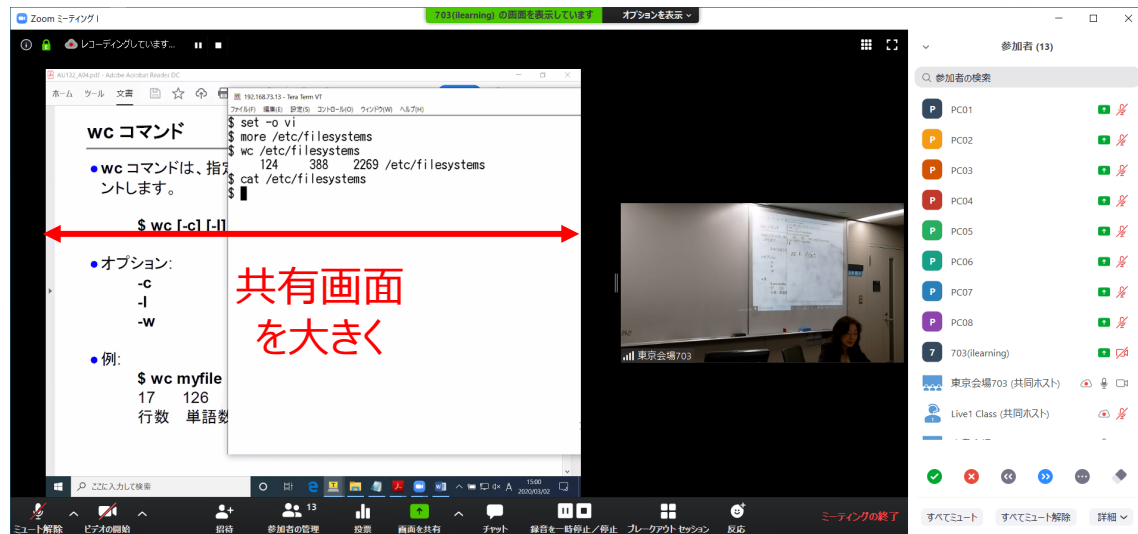
5. 画面表示の切り替え



① 画面上部のバーの[オプションを表示]から[左右表示モード]にチェックします。



② 発表者(講師等)のビデオ表示右上の[...]から[ビデオの固定]を選びます。



- ③ 共有画面と映像を左右にスライドさせて、見たい場面に応じて好みの表示に変更します。
- ④ [左右表示モード]のチェックを外して、[ビデオのピン止め固定を解除]で元の表示に戻せます。



6. 最新状態の維持

- デスクトップクライアントを以前から導入している場合、最新状態にアップデートしてから参加します。

Windows

- ① デスクトップクライアントを起動し、[タスクトレイ]からZoomアイコンを右クリックして[アップデートを確認]を選びます。
- ② 更新版がある場合、[更新]を押してアップデートします。
- ③ 完了すると最新のデスクトップクライアントが起動します。



macOS

- ① デスクトップクライアントを起動し、[メニューバー]の[zoom.us]から[アップデートの確認]を選びます。
- ② 更新版がある場合、[更新]を押してアップデートします。
- ③ 完了すると最新のデスクトップクライアントが起動します。



- システムアップデート(Windows Update等)やPCメーカーツールを使ったデバイスドライバー等のアップデートもお勧めします。
- ウェブクライアントをご利用の場合、ウェブブラウザを最新版にアップデートしてください([Google Chrome](#)推奨)。
- モバイルアプリ([iPadOS](#)、[iOS](#)、[Android](#))をご利用の場合、アプリストアからアップデートしてください。
- ZoomのMSIインストーラーやDVIをご使用のお客様環境では、通常その組織の管理者によりアップデートが管理されます。